

お客様へのメッセージ冊子

この冊子は、お客様に向けた、セゾン投信のメンバーの思いや、
応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。

ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、証券取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

2007年9月5日

長期投資家仲間へのメッセージ Vol. 6

～浮利を追わないのが長期投資の王道～

2007年9月5日

リスクを見ないリスク

日本の個人金融資産1500兆円の半分以上が預貯金に滞留している事実をして、これまで「貯蓄から投資へ」のシフトが語られるうえで、「リスクをとらないリスク」が巷間指摘されてきました。ところが直近の世の中の流れを総括すると、機関投資家も個人投資家もこぞって「リスクを顧みないリスク」を積極的にとっていたこととなります。これは言い換えれば「目先のリターンに目が眩んだリスク」であり、結果として世界的な投機マネーに本来善良な投資家が翻弄され、この度の調整で一気に浮利を追ったツケがまわってきたということでしょうか。

市場のリスクへの過剰反応

米国のサブプライムローン問題が具体的に顕在化したのが6月下旬、当初は米ベアスターンズ社のファンド固有の損失発生として限定的事象とみられていたものが、サブプライムローンのほとんどが資産担保証券(ABS)として証券化され、それを集めたCDOという合成債務担保証券としてリスク商品化され、さらにそれらがヘッジファンドの投資対象として取引されているというような流れで当該リスクが広範にわたって転嫁されているという事実として徐々に明らかになるにつれ、その潜在性に対する不安心理が金融市場全体に伝播して行ったというのが今回のいわゆるサブプライムショックであります。そしてサブプライム問題はあくまで市場に調整をもたらすきっかけであって、あまりにもリスクに鈍感になり過ぎた世界中の投資マネーがその反動でリスクのポジションを急激に減らし始めたことから生じる信用収縮、つまりは市場参加者こぞっての今度はリスクへの過剰対応が「質への逃避」というかたちで世界の株式市場に売りを浴びせることになったわけです。こうした大波は数年に一度、行き過ぎた市場価値へのコレクション(調整)というかたちで必ず起こることで、私たち長期投資家にとっては長い長い長期運用の旅の途中での一場面に過ぎず、長期スパンでの経済の波を俯瞰して行く立場にたてば、行き過ぎた価値の減少局面として資金を投入して行く絶好のチャンスです。ここで入れた資金は先行きの回復局面できっと成果を積み上げる糧となってくれるはずですよ。

過剰流動性の所業

20世紀は第一次大戦、第二次大戦そして冷戦というように世界が分断され、戦争が支配する時代が続きました。戦争 ヒト・モノ不足 インフレという図式で世界的なインフレが前提だった20世紀に対し、1990年代以降平和をベースとする新しい世界秩序が確立しました。21世紀は平和な時代、世界はあらゆる国境を越えて自由に人もお金も情報も循環するようになり、経済のグローバル化が先進国と発展途上国の役割分担を否応なく推し進めます。安価な労働力が次から次へとグローバル経済活動に参加してくるわけですから、今度は平和 ヒト・モノ余り デフレという基調が定着します。デフレ基調は日本だけでな

く世界の先進国に共通の現象で、これが世界的なカネ余りをもたらします。世界的な低金利環境でのデフレ経済下では、巨額のマネーがリターンを求めて金融市場に流入します。原油価格の急騰、商品市況の高騰、新興国市場に次々と入るマネーが引き上げる現地の株式市場、これらは実需を越えた投機マネーの所業です。ここ 3 年以上続いた世界のありとあらゆる市場の活況はこのカネ余り、つまり過剰流動性が目先の利益を求めて世界中を席捲した結果です。そしてカネ余り投機を最も助長したのが「円キャリー取引」です。世界中のヘッジファンドが自らの資産を担保に圧倒的な低金利の円で資金調達して世界中の金融市場に買い向かったことで、多くの市場が説明のつかない値上がりをしてしまいました。我が国でも多くの個人マネーがこうした投機マネーに追随して短期でガッポリ儲けようと血道をあげてしまったわけです。しかし投機マネーはそれこそ世界屈指のプロ筋の資金であり、見切りをつけたらさっさと売り逃げていきます。日本の個人マネーが到底その疾風の業について行けるものではなく、せっかく盛り上がり始めた個人金融資産の投資への流れの芽を摘んでしまうのではと心配でなりません。世界の不動産市況の先行きも懸念です。東京のみならずニューヨーク・ロンドン・パリといった欧米大都市から香港・マカオ・上海・シンガポールといったアジア大都市でも、不動産価格は 2 倍・3 倍に急騰しており将にバブルです。潮目が変わるきな臭い兆候を感じます。

長期投資家が見据える経済

今回のサブプライム問題は当該マーケットに留まらず、デリバティブやレバレッジ取引など派生商品化し次々と加工されていく過程で、リスクの所在を市場自体が把握し切れないことがリスクとして改めて認識されたことによる、行き過ぎた金融ハイテク化への警告であります。そしてリスク移転で複合商品への加工が進むたびに、加工業者がガッチリと工賃を抜いているわけで、今回は格付機関までそうしたギラギラ商売に加担していたことが詳らかとなり、目先の利益に翻弄されることへの恐ろしさと浅ましさを痛感させられました。

しかしながら、短期的な相場の翻弄を越えた長期スパンでの実体経済をしっかりと見据えて、その経済の波にゆったりじっくり載って行くのが私たち長期投資家の行動原則です。世界の实体经济の大きな流れを長い目でしっかりと俯瞰すると、素材・環境などの圧倒的先端技術力を誇る日本、基軸通貨ドルを有し圧倒的スケールのマネー吸収力を持つ米国、ユーロ経済圏拡大の中で域内経済成長を享受する欧州、そしてグローバル経済の新たなストリームの進展の上で、新興国のインフラ・資源開発から内需に至る巨大な需要とそこへの供給元としての成熟先進国経済という枠組みなど、世界が一体となった将に地球規模の成長路線を見出すことができ、同時に相場の波を乗り越えるたび、日米欧先進国市場にはやはり歴史と底力のある大きなスケールの圧倒的な厚みを実感できるはずです。

決して目先の浮利は追わず、しっかりしたマーケットで国際分散投資、あとはじっくりゆったり大きな地球経済の波に載って、長距離列車「セゾン号」は今回の下げ相場も楽しむことができている。

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

「 資産運用で人生の豊かさを得ましょう 」

有限会社ファイナンシャルリサーチ 代表

深野 康彦

保守的と言われる人たちが、そろ～り、そろ～りと資産運用の第一歩を踏み出しつつあるようです。筆者はさまざまなメディアを通じて、投資の啓蒙などを行っていますが、2007年（既に3分の2が終了していますが）になってからのセミナー参加者の顔ぶれ、真剣の度合いなどは明らかに違う気がしてなりません。今年度から団塊世代の大量退職が始まったからなのかもしれませんが……。とはいえ、資産運用に興味を持たれることは、とても喜ばしい出来事です。なぜなら、資産運用はだれにでも平等に与えられたものだと考えているからです。だって、資産運用に資格は要りません。学歴も関係ありません。少しの資産と、資産運用に踏み出す勇気さえあれば、だれもが資産運用を始められるのです。しかも、投資信託を利用すれば1万円から（セゾン投信は5000円）資産運用を始められるうえ、自分のお金を世界に旅出させて（出稼ぎ？）、おみやげ（収益）を持って戻って来てくれるのです。

そもそも、私たちはなぜ資産運用をするのでしょうか。筆者が考えるに、人生を豊かに過ごすために資産運用をするのだと思います。この場合の豊かさとは、選択肢をたくさん持つことだと思うのです。私たちは常日頃からたくさんの選択をしています。近視眼的にいうと、たとえば今日のランチを食べることを想像してみてください。何を食べるかの基準は、昨日何を食べたか、あるいは何を食べたいのか。はたまた、ランチの時間がたくさん取れるのか等々、そして、今お財布の中にいくらのお金が入っているのかという要素において、今日のランチメニューが決まるのです。その際、お財布にお金が入っていないと、食べたいランチを食べることができないなんて、寂しいですね。もちろん友人にお金を借りるという方法もありえますが、やはり自分のお財布の中から気持ちよく現金を支払うのと気分は違うはず。この気持ちよさ、言い換えればお金を持つことによる「選択肢の多さ」が豊かさにつながると思うのです。残念ながら子どもの時は、自分で収入を得たり、資産運用をしていませので、選択権は親が握っています。ところが、社会に出て収入を得、資産運用をできるようになっても、子どもの時のように選択肢が限られてしまうのは、何だか自分が成長していないように感じませんか？ そうならないために、私たちは資産運用をしていくのだと思うのです。ただし、資産運用をするといっても、預貯金だけでは満足の行く収益を得ることは難しいと言わざるを得ません。

あくまでも試算ですが、たとえば普通預金（利率＝0.20％）で資産を2倍にしようと思ったら、何と625年（税引後、単利）もかかるのです。1年定期（利率＝0.35％）で同様に計算しても、約357年もかかるのです。これでは、選択権を増やすといっても、神頼みかもしれませんね。そこで、投資という資産運用が必要になってくるのです。投資は預貯金などよりも難しいと思われるかも知れませんが、何も全てを自分自身で行う必要はないのです。自分で投資するのが難しければ、投資信託などを活用すればいいのです。投資信託を活用すると手数料がかかってしまいますが、投資信託にかかる費用は、資産運用の専門家を雇うための費用。言い換えれば、投資信託の費用を支払うことによって、難しい投資という資産運用から開放されるのです。「タイムイズマネー」という言葉がありますが、筆者は投資信託の手料は「マネーイズタイム」。つまり、私たちが自由に使える時間を買うためのコストだと思うのです。資産運用をやるか、やらないかは皆さんの自由ですが、過去の5年間とこれからの5年、もっと長期なればなるほど、資産運用をやった人とやらない人の格差は開いていくことでしょう。

執筆者プロフィール

深野 康彦氏

有限会社ファイナンシャルリサーチ 代表

2006年1月に有限会社ファイナンシャルリサーチを設立。

金融資産運用設計を得意とするファイナンシャルプランナー。資産運用や家計管理の大切さの広めるため、新聞やマネー誌、経済誌などに積極的に執筆と取材協力を行っている。セミナー講師、ラジオパーソナリティとしても活躍中。

セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりを少しでも感じていただければ幸いです。

『心の四季』

先日、作家の五木寛之氏の講演を聞く機会がありました。

「鬱(うつ)」という言葉には、「生命力やエネルギーが溢れて盛り上がること」という意味があるそうです。鬱を使った言葉を辞書で調べてみると、

「鬱勃(うつぼつ)」: やる気が体内に沸き起こり、やめようとしてもやめることができない様子 「たる闘志」

「鬱蒼(うつそう)」: たくさんの木が生い茂っているさま 「とした森」

と、確かに私がこれまで抱いていた「鬱」という言葉のイメージとは違う力強い意味を持っているようです。そこから、五木氏は、『うつ病にかかる人というのは、持てるエネルギーが出口を失って、自身の中で渦巻いている人であり、無気力な人のことではない。』と述べられました。そして、『天気には四季があるように、雨の日があるから青空が綺麗だと思えるように、心にも浮き沈みがあるのは大切なこと。うつ病になる方は心の四季がある方なのでしょう。』と。なんとも心に残るフレーズでした。

そして最後には、『冬の風物詩に金沢兼六園の「雪吊」がありますが、あれは柔らかくしなる木には不要で、強くて曲がらない木に必要なものです。つまり強い心、硬い心は突然折れる危険性がありますが、萎えたり屈したりできるしなる心にはその心配はありません。』と。人間強く生きることは大切ですが、時には肩の力を抜いて「心の四季」を楽しむ位のゆとりも必要なのかもしれませんね。

佐藤恭子

『窓からの景色』

わが社は豊島区の高層ビルの高層階に事務所があります。会社に入社して最初に事務所に入り窓からの景色を見たとき、「いい眺めだな。」というよりむしろ「ここで大きな地震が起きたらまず助からないだろうな・・・。」などというネガティブな考えが浮かんだほどの高さです。

もともと高いところはあまり好きではないし、街路樹などの木一本も見えないこの景色が正直大変不満でした。でも人間住めば(働けば)都になるのか、この景色に対する気持ちもだんだん変化してきました。夏の午後は絵画のような入道雲がもくもくと浮かんで来ますが机に座ったままの目線にくっきり見え、夜は窓全体に夜景が広がります。雨で霧が立ち込めると何も見えず、まるで雲の中にいるようです。

都心では高層マンションに人気があるようですが、この窓からそんな景色をみていると人気のある理由がわかるような気がします。でも自分が住むとしたら高層マンションがいいかということ、それは別。通勤片道一時間以上かかっても小さいころから住み慣れた自然に恵まれた埼玉の田舎が好きです。

夏の朝は鳥の鳴き声で目を覚まし、夜は虫の鳴き声を聞きながら寝る。そしてこの時期からはうっそうと生い茂る庭の緑の鮮やかなこと！東京の都会では贅沢なことなのでしょう。とすると、今の私は都会と田舎のいいところ取りをしている生活なのですね。

水野美枝

『選択とリスク』

最近、ちょっとした選択をする機会がありました。誰でも生きていく中では、大小さまざまな選択をし続けていく必要があるものと思います。

選択肢は、いくつもある場合もあれば、2つにひとつの場合もありますが、それぞれの選択肢には、いつも得られるものと失うものがあります。失うものを中心に考えるか得られるものを中心に考えるか、現状を維持するのかそれとも変えていくのか、いろいろ考えて選択を重ねていく。いつもリスクは隣り合わせですが、上手に付き合う方法を見つけていきたいものです。資産形成でも、人生でも。

瀬下哲雄

『元横綱琴桜を偲んで』

元横綱琴桜が亡くなりました。ちょうど僕が大相撲に興味を持って、小学校が終わると走って家に帰り4時からの大相撲放送に夢中になり始めた頃、琴桜は横綱に昇進しました。長い間大関で足踏みして32歳という遅咲きの横綱昇進が話題になりましたが、その時代は「黄金の左」の輪島がメキメキ台頭してきている時期で、彼のいかにもエリートっぽい（実際学生横綱出身のエリートでしたが）吊り寄りの完璧な取り口に対して子供心にも何やら鼻持ちならない感覚を持ってしまった一方で、ぶちかましてひたすら前へ出る琴桜の相撲には何故かシンパシーを感じ、先代貴乃花のサーカス相撲と共に小さな僕のハートを捉えました。愚直なまでの正攻法の押し相撲は琴桜の真面目で誠実な人柄を感じさせ、その後の僕のごひいき力士の指向を定めるきっかけにもなったようです。ちなみにその後の僕のごひいきは、大関大麒麟（現押尾川親方）・横綱三重ノ海（現武蔵川親方）・横綱隆の里（現鳴戸親方）と地味筋一辺倒であり、その共通項は苦勞と忍耐で勝ち取った現役の地位と共に、皆引退後名親方としてたくさんの名力士を育てており、人間性も優れている証左として、僕の力士を見る目はナカナカ深いと悦に入っています。

エリートのスマートな振る舞いよりも、地道に積み上げる姿が美しい！これが僕の価値観であり、セゾン投信も琴桜のような取り口で地道に愚直な姿勢を貫いてエリートたちに挑み続けます。

最後に琴桜閣のご冥福をお祈りいたします。

中野晴啓

セミナー情報

<セゾン投信主催セミナー>

日時・テーマ：9月19日(土) 19:00~20:30 生活者のための簡単で有効な投資法
講師：加藤隆氏(バンガード・グループ駐日代表)
場所：日本教育会館(住所：千代田区一ツ橋2-6-2)
費用：無料

日時・テーマ：9月26日(水) 19:00~20:00 セゾン投信の運用ポリシーと商品特長<初級編>
：9月27日(木) 19:00~20:00 セゾン投信の運用ポリシーと商品特長<中級編>
講師：中野晴啓(セゾン投信社長)
場所：セゾン投信本社会議室(住所：豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60・54F)

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668(9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

<セゾン投信役職員が講師として参加予定のセミナー>

直販クラブ勉強会 in 福岡
日時：9月8日(土) 13:30~16:30
場所：天神クリスタルビル(住所：福岡市中央区天神4-6-7)
費用：500円

直販クラブ勉強会 in 札幌
日時：9月21日(金) 18:30~20:30
場所：かでの2.7 720 研修室(住所：札幌市中央区北2条西7丁目)
費用：1,000円

直販クラブ勉強会 in 大阪
日時：9月30日(日) 13:30~16:30
場所：アピオ大阪 301室(住所：大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5)
費用：1,000円

直販クラブ勉強会 in 名古屋
日時：10月26日(金) 18:30~21:00
場所：中日コンサルティングプラザ(住所：名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル6階)
費用：1,000円

セゾンと地球と長期投資 in 大分
日時：11月3日(土) 14:00~16:00
場所：全労協ソレイユ 3階 百合(住所：大分市中央町4-2-5)
費用：1,000円

セゾンと地球と長期投資 in 名古屋
日時：11月9日(金) 18:30~20:30
場所：中日コンサルティングプラザ セミナールーム(住所：名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル6階)
費用：1,000円

詳しくは当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

セゾン投信からのお願い・お知らせ

購入代金のお振込みについて

当社ではお客様よりご購入代金相当額以外の金銭をお預かりすることができません。投資信託のご購入代金をお振込みいただく際は、必ずご購入いただく金額のみお振込みいただきますようお願いいたします。

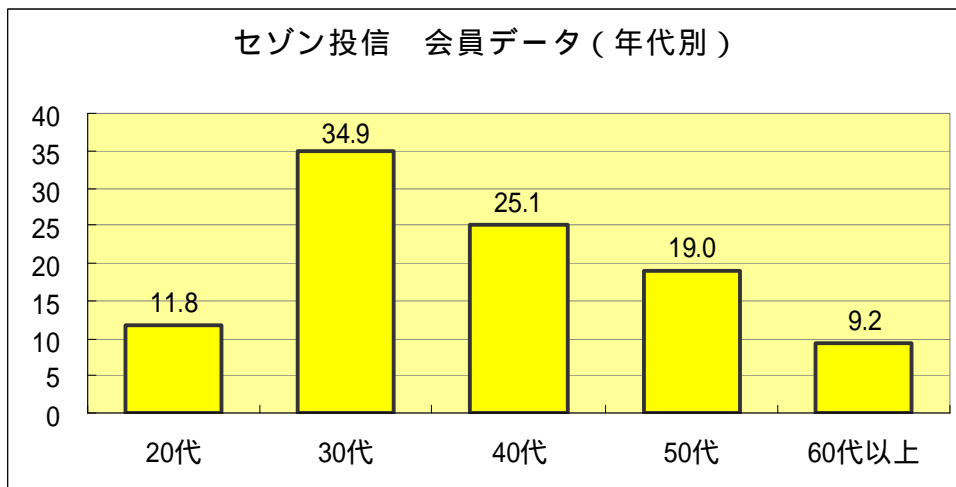
お振込時の金融機関口座の口座名義人について

投資信託のご購入代金をお振込みいただく際は、必ずご購入いただくお客様名義でお振込みいただきますようお願いいたします。ご家族の方の名前等でお振込みがございましたら、お振込みいただいた金融機関での組戻しまたは変更手続等をお客様ご自身にてしていただく必要が生じますのでご注意ください。

各種変更届のご請求について

ご住所やご出金先の口座等を変更される場合は所定の変更届をご提出いただく必要がございます。各種変更届は当社お客様窓口までご請求いただくか、セゾン投信サイトにログイン後、「口座管理」「登録情報一覧・書類請求」画面からご請求いただけます。また、お急ぎの場合は、セゾン投信トップページから「ご利用の手引き・各種変更のご案内」画面にお進みいただければ、各種変更届を掲載しておりますので、お客様ご自身で印刷いただき、当社へご送付いただくことにより変更を承ることも可能です。

セゾン投信 会員数 (2007年8月末日) 14,594口座



TOPICS:

- ・先月に引き続き、今月も2,457人と多くの方に、新規で口座を開設いただきました。